

# 第5学年 社会科学学習指導案

平成30年7月11日（水）第5校時

第5学年3組 33名

指導者 倉持 宏史

## 1 単元名 「米づくりのさかんな地域」

## 2 単元の目標

- ・農業に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な農作物を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることや国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解できるようにする。(知識・技能)
- ・食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現するとともに、既習したことを多角的に捉え、農業の発展について考えることができるようにする。(思考・判断・表現)
- ・農業について、学習問題を主体的に調べ解決しようとするとともに、農業の発展について考えようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性 等)

## 3 小単元の評価規準

観点 評価	学びに向かう力、 人間性 等	思考力、判断力、 表現力 等	知識・技能	
単元の 評価規準	<p>①我が国の米づくりに関心をもち、主体的に学習問題を解決するために、意欲的に調べようとしている。</p> <p>②国民生活を支えている我が国の米づくりの発展を考えようとしている。</p>	<p>①我が国の米づくりや米づくりに関わる人々の工夫や努力について、学習問題に対する予想を考えている。</p> <p>②我が国の特色や、国民生活に果たす役割について、多角的に捉え、自分の考えを文章等に表している。</p> <p>③米づくりの課題を把握し、消費者や生産者の立場から、これからの米づくりの発展について、多角的に捉え、自分の考えを文章等に表している。</p>	<p>①資料を活用して、米の生産に従事している人の工夫や努力について読み取っている。</p> <p>②統計などの基礎的資料を通して、情報を適切に集めて調べ、読み取り、まとめることができる。</p> <p>③米づくりが自然環境と関わって営まれていることを理解している。</p>	<p>④米の生産に従事している人々は、協力し合っていることを理解している。</p> <p>⑤我が国の米の生産が、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解し、人々の努力や工夫があって食生活が支えられていることを理解している。</p> <p>⑥米づくりの様々な課題を解決するための取り組みについて理解している。</p>

## 4 指導観

### (1) 単元観

本小単元は、新学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

(2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食糧を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

本小単元では、「米づくりのさかんな地域」として新潟県魚沼市を取り上げ、稲作に関わる社会的事象を学習することで、国土の自然条件との深い関わりや、食料生産が人々の工夫や努力によって支えられているということを考えられるようにしていく。また、現状を知ること、課題を把握し、人々の工夫や努力により焦点化することができるようにしていく。

今回取り上げる新潟県魚沼市は、6年生の移動教室で訪れる予定になっている。また、給食で年に一度ある「和食の日」には、魚沼産コシヒカリを食べることができる。魚沼産コシヒカリは特別なものであり、いつもの米と違って美味しいという認識を多くの児童がもっている。出会ったことのある魚沼産コシヒカリに焦点を当て、「生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること」ができるようにしていく。

### (2) 教材観

本小単元の学習を通して、食料生産に関わる人々の工夫や努力によって支えられているという事を考えられるようにしていく。

米は日本人の主食であるが、近年、稲作農家数や働く人の減少が著しい。その原因は、食の多様化による米の消費量の減少や作付面積の減少、後継者不足などと多く課題が見られる。そのような中で、米づくりに関わる人々は、それぞれの地域の自然条件に合わせて、美味しく、安心・安全な米をつくるための工夫や努力をしている。それらの工夫や努力を理解するために、資料の充実を図る。統計資料や地図などの資料から、「生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用など」を読み取り、「食料生産に関わる人々の工夫や努力」を捉え、その働きを考え、学ぶことができるようにする。

また、本小単元の「いかす」段階では、「海外輸出」や「加工食品」、「6次産業」といった、課題に対する取り組みに着目し、社会認識を高め、発展的に社会参画を考えることができるようにする。

### (3) 児童観

## 5 知識の構造図

### 知識の構造図

新学習指導要領

(2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食糧を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

中心概念

米づくりが盛んな地域では、米づくりに関する人々が、自然条件を生かしたり高い技術を活用したりし、生産性や品質を高める工夫をしたり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、我が国の主食である米の生産をし、消費地に送り届ける働きをしている。⑥

具体的知識

魚沼盆地は、魚野川が流れており、水田が一面に広がっている。また、春には豊かな雪解け水があり、夏は蒸し暑く、昼夜の気温差が大きい。そのため、あまみのあるおいしい米が育つ。①

魚沼盆地では、地形や気候などの自然条件を生かして、四季に応じた作業を行い、品質のよい米づくりが盛んに行われている。②

魚沼盆地では、JAや農家を支える様々な人の協力によって米づくりは行われている。③

作られた米は、トラックや列車などによって、全国に輸送され、販売されている。商店で売られている米の価格には、生産、輸送、販売にかかる費用が含まれている。④⑤

農業に関わる人々は、様々な課題に直面しているが、よ  
り生産性を求め、消費者のニーズに応える農業生産に向  
けて協力した取組が広がっている。⑦⑧⑨

用語

- ・ 米の生産量
- ・ 食味
- ・ 魚沼市の雨温図

- ・ 品種改良
- ・ お米ができるまでの八八手間

- ・ JA
- ・ カントリーエレベーター

- ・ 産地直送
- ・ 六次産業
- ・ 加工品
- ・ 海外輸出

## 6 研究主題との関連

### (1) 高学年分科会が考える深い学び

今年度の研究主題『深い学びを実現する授業の創造～新学習指導要領を踏まえて～』にあたり、高学年部会では「深い学び」について、

- ①知識を相互に関連付けるとともに、多様な場面や状況とつなげて深く理解し、自分の考えが伝わるように表現できる児童
- ②情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたりすることができる児童
- ③広い視野で物事や状況を捉え、思いや考えを基に創造することができる児童と設定した。

### (2) 本單元における深い学びの姿

○学習してきた農業における知識を相互に関連付け、消費者や生産者の立場などから多角的に考え、これからの米づくりの発展について自分の考えを表現する姿。①②③

### (3) 深い学びに迫るための具体的な手立て

#### ①単元構成の工夫

##### ・前小単元との関連

前小単元の食料生産の概要である「食料生産の特色」の学習で、日本の主食である米の産地について、子供たちが実際に家で食べている米の米袋を集め、産地調べを行う。その学習から、コシヒカリの銘柄を食べている子供が多いことをおさえ、「新潟県魚沼産コシヒカリ」の米を身近に捉えられると考えた。

##### ・「いかす」段階を位置付けた学習過程の設定

「つかむ」段階、「調べる」段階、「まとめる」段階での学習内容を踏まえて、学習過程に「いかす」段階を位置付ける。「いかす」段階で新たな問いを示し、米づくりの現在・未来の課題に対して発展を考えることで、これからの社会の一員として自分の在り方を考えたり、社会への参画意識を高めたりすることができると考え、「いかす」段階を設定する。

##### ・単元を通した関連図の作成

調べる段階で毎時間学んだことの関連図として図式化する。それを行うことで消費者と生産者との関連や農業に関わる人々と生産者の関連など、農業を取り巻く様々な社会的事象がどのようにつながっているのかを可視化するとともに、個々の捉えにつなげる。その関連図をもとに、なぜ、そう考えたのかについてまとめる段階で理由・根拠を対話することで、考えを深めることができると考えた。また、関連図をもとにすることによって、いかす段階で米づくりの発展について考える時に、これまでの学習をもとにするツールとなることや、消費者や生産者の立場から多角的に考えることができると考えた。

#### ②見方・考え方を働かせる活動の工夫

##### (ア) 教材の工夫

##### (a) つかむ段階

魚沼産の品質や生産性の高さや魚沼産コシヒカリの特徴である茎が長く実り過ぎたり、台風などの風雨で倒れやすく、いもち病や紋枯れ病と病気に弱かったりすることを取り上げる。新潟県魚沼産は、28年連続食味ランキング特Aを獲得しており、消費者から高い評価長年（時期や時間的視点）を得ている。また、生産性も高く、日本各地の人々の家庭（位置や空間的視点）で食べられている。品質が良

く、生産性も高い魚沼産コシヒカリだが、病気になりやすく、育てるのが難しい。そんな矛盾を見せることで農家の人々の工夫・努力（人々の相互関係的視点）に焦点をあてることで、「どのように美味しいお米を作り続けてきたのだろう。」「どのように多くの人々に届けているのだろう。」「だれが作っているのだろう。」等の問いをもたせ、「魚沼産コシヒカリは、どのように生産され、多くの人々に届けられているのだろう。」といった学習問題へ問題意識がつながっていくと考えた。

#### (b) 調べる段階

「位置や空間な広がり」的視点」「時期や時間の経過の視点」「事象や人々の相互関係的視点」のそれぞれの視点を意識し、問いに対応する教材を選定する。また、「位置や空間的な広がり」的視点」「時期や時間の経過の視点」「事象や人々の相互関係的視点」に着目させることや、比較、分類、総合、関連付けなどができる資料提示を工夫する。

#### (c) いかす段階

米づくりの発展を考える教材として「6次産業化」と「米の加工品」、「海外輸出」を取り上げる。米づくり全体の課題である高齢化や農業で働く人口の減少などの現状に対して、6次産業化をすることや加工品を作り出すこと、海外輸出を通して進出することを行うことで克服していることを捉えるとともに、広く農業の発展について考えることができると考えた。

#### (イ) 問いの工夫

知識を体系化し、概念を膨らませていくために大切になるのが「問い」である。そこで意図的に「時間」「空間」「相互関係」の視点を意図的に設定し、「問い」の答えに迫る「視点」へ導くことで子供の思考を活性化する

### ③対話の工夫

#### ・PI シートの活用

調べる段階で事実を捉えるだけでなく、事象を基に考える時間を設定する。事象に対するプラス Plus 「良いところ」、インプルーヴメント **improvement** 「改善点」、の2つに分けた PI ノートを用い、グループでホワイトボードにまとめていくことで対話を活性化する。PI シートを用いて交流することで社会的事象に対する考えを広げたり、深めたりすることができると考えた。また、まとめる段階でこのシートを用い、米づくりの取り組みに対する考えをもてるようにする。

7 小単元の指導計画（全9時間 本時 8/9）

学習過程	時	ねらい	児童の活動 (○主な学習活動・児童の反応、内容)	★資料 ○支援 ◇評価
つかむ	1	新潟県のコシヒカリの人気の理由にせまるために南魚沼市の米づくりについて調べたいことを話し合い、学習問題を見だし、それに対する予想を考え、学習計画を立てる。	○資料を読み取り、疑問に思ったことを話し合う。 ・コシヒカリは人気だけれども、病気に弱く、倒れやすいため手間がかかる。 ・どのようにしてコシヒカリを育てるのだろうか。 ・何か工夫しているのではないか。 ・多くの人が協力しているのではないか。 ・自然条件を上手く活用しているのでは。  ○疑問をもとに学習問題を作る。	★米の生産量ベスト5 ★米の食味ランキング ★コシヒカリの特徴 ○魚沼産コシヒカリの生産性・美味しさと病気になりやすさなど矛盾から疑問を想起させる。
		魚沼産コシヒカリはどのように生産され、多くの人々に届けられているのだろうか。	○学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てる。 ・自然環境が適しているのではないか。気候、雪、土地、川など ・人々が努力しているからではないか。労働時間、機械 ・品種改良、価格、運輸	★魚沼市の航空写真  ◇学習問題に対する予想を考えている。 (発言・ノート) 思・判・表①
調べる	2	写真や地図、雨温図などの資料から南魚沼市の自然条件や土地利用の特色を調べ、気候や特色が米づくりに適していることを理解する。	○写真や雨温図を見て気づいたことを話し合おう。(文京区との違いや共通点を考えよう。) ・山以外はほとんど水田が広がっている。 ・川が流れている。 ・冬の降水量が多い。 ・夏の気温は文京区と同じくらい。  ○土地利用の地図を見て気づいたことを話し合おう。 ・○○新田という地名が多い。 ・川に沿って水田がある。 ・水田がきれいな形をしている。(圃場整備)  ○南魚沼市の自然条件と米づくりの関係について図にまとめる。	★魚沼市の航空写真 ★魚沼市の雨温図 ★教科書  ◇米づくりが自然環境と関わって営まれていることを理解している。 (発言・ノート) 知・技③
	3	米づくりの1年間の仕事や日々の生活の様子について調べ、収穫まで安全	○教科書の今井さんの米づくりカレンダーや、今井さんの話を読み取ってまとめる。 ・写真と言葉で米づくりの1年間をまとめ	★米づくりの1年間 ★今井さんの話 ★お米ができるまで

	や環境に配慮した様々な工夫や努力について読み取っている。	<p>る。</p> <p>○今井さんの1日のスケジュールを資料から読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の1日はゆったりしていると思っていたけれど、朝から夜までずっと働いている。</li> <li>・水の調整に気を遣っている。</li> <li>・かもを使うなど環境に配慮した米づくりを行っている。</li> </ul>	<p>の88の手間</p> <p>◇資料を活用して、米の生産に従事している人の工夫や努力について読み取っている。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>知・技①</p>
4	米はどのようにして家庭に届くかを調べ、作り手以外に携わっている人々の働きについて理解する。	<p>○流通の仕方の違いに気づき、それぞれの良さについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地直送は安心しておいしいお米が食べられる。</li> <li>・カントリーエレベーター共同で管理できるので、作り手が作ることに専念できる。</li> </ul> <p>○カントリーエレベーターを使って共同で管理することの良さや課題をPIシートにまとめる。</p> <p>○関連図にまとめる。</p>	<p>★カントリーエレベーターを使った米の流通</p> <p>○消費者目線を入れるようにする(中間を通さない)と安くなるなど)</p> <p>◇米の生産に従事している人々は、協力し合っていることを理解している。</p> <p>(発言・ノート)</p> <p>知・技④</p>
5	短い労働時間で多くの収穫を得るために行われてきた取り組みについて調べ、読み取り、まとめている。	<p>○10aあたりのコメの生産量と労働時間の変化のグラフを読み取り、気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間は減っているのに生産量は増えている。</li> </ul> <p>○多くの米を収穫できるようになってきた理由を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械を多く使っていた。</li> <li>・品種改良を行っていた。</li> </ul> <p>○関連図にまとめる。</p>	<p>★10aあたりのコメの生産量の変化</p> <p>★米づくりの作業時間の変化</p> <p>★品種改良をしている人の話</p> <p>◇統計などの基礎的資料を通して、情報を適切に集めて調べ、読み取り、まとめることができる。(発言・ノート) 知・技②</p>

<p>まとめる</p>	<p>6</p> <p>これまでつくった関連図をもとに学習問題に対する答えを自分の言葉で表現する。また、米づくりの課題である米の消費量の減少、働く人の変化などについて調べ、それを解決するための手立てと生産者の思いについて考える。</p>	<p>○これまで作成した関連図をもとに学習問題に対する答えを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>魚沼産コシヒカリは、米の生産や輸送に関わる人々が協力し、おいしく安全にたくさん作る工夫や努力を通して生産され、お店まで届けられて売られている。</p> </div> <p>○米の生産量と消費量の変化をグラフから読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量も消費量も減ってきている。</li> <li>・消費量が減ったから生産量が減ってきた。</li> </ul> <p>○グラフや今井さんの話をもとに農家の人が抱えている不安や心配を関連図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減反政策</li> <li>・後継者不足、耕作放棄地の増加</li> <li>・外国産の米の進出</li> </ul> <p>○努力や苦労を重ねてまで行う米づくりに込められた願いや思いを読み取り、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の人は日本の食料生産を支えようという気持ちをもっている。</li> </ul>	<p>◇我が国の米の生産が、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解し、人々の努力や工夫があつて食生活が支えられていることを理解している。(ノート)</p> <p>知・技⑤</p> <p>◇我が国の特色や、国民生活に果たす役割について、多角的に捉え、自分の考えを文章に表している。(ノート)</p> <p>思・判・表現②</p> <p>★働く人の変化</p> <p>★コメの生産量と消費量の変化</p>
<p>いかす</p>	<p>7</p> <p>米づくりの様々な課題を解決するための取り組みについて調べ、理解する。</p>	<p>○米づくりの課題に取り組む人々の姿を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社のようになっている。</li> <li>・海外輸出は年々増えている。</li> <li>・無洗米、米粉など加工品が多くある。</li> </ul> <p>○6次産業と海外輸出、米の加工の良いところと課題をPIシートにまとめる。</p> <p>〈P〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(6次) 給料の安定。若手も働きやすい。</li> <li>・(海外) 消費量、生産量が増える。</li> <li>・(加工) 活用方法が増え、余りがなくなる。</li> </ul> <p>〈I〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(6次) 個人農家が対抗できなくなる。</li> <li>・(海外) 費用がかかる。</li> <li>・(加工) 価格が高い。</li> </ul>	<p>★6次産業 六星</p> <p>★海外輸出の変化</p> <p>★日本食レストランの数、働く人の言葉</p> <p>★米の加工品</p> <p>◇米づくりの様々な課題を解決するための取り組みについて理解している。(発言・ノート)</p> <p>知・技⑥</p>

	8 本 時	日本の米づくりを守り、米づくりの発展を考える。	<p>○生産者の努力や米づくりの課題を整理する。</p> <p>○米づくりの課題を解決するために行われている3つの取り組みの中から自分が大切だと思うものを選び、グループごとに話し合う。</p> <p>○意見文を書く。</p> <p>・現在米の海外輸出が増えていることはとても良いことだと思う。そして、海外の輸出を増やすことは生産を増やすのにとっても大切であることが分かった。しかし、海外輸出だけに頼るのではなく、米や米の加工食品をすすんで選んで食べて国内の消費を増やしていきたい。</p>	<p>◇米づくりの課題を把握し、消費者や生産者の立場から、これからの米づくりの発展について、多角的に捉え、自分の考えを文章に表している。(ノート)</p> <p>思・判・表③</p> <p>◇国民生活を支えている我が国の米づくりの発展を考えようとしている。(発言・ノート)</p> <p>学②</p>
	9	学習したことを生かし、米づくりの発展に向けたCM作りを行う。	<p>○班ごとに米づくりの発展に向けたスライドショーを作る。</p> <p>○全体に発表する。</p>	<p>★NHK for school 未来広告ジャパン</p> <p>◇国民生活を支えている我が国の米づくりの発展を考え、スライドに表現している。(発言・作品)</p> <p>学②</p>

## 8 本時の指導（8／9）

### (1) 本時の目標

- ・農家の課題と改善への取り組みを通して、日本のこれからの米づくりを守り、発展させていくにはどのようなことが大切であるか考える。

### (2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	★資料 ○支援 ◇評価【評価方法】
導 入	○前時までの学習を振り返り、学習のめあてを確認する。	★前時までのノート、掲示物
	日本の米づくりを守り、発展させていくためには何が大切か考えよう。	

<p>展 開</p>	<p>○生産者の努力や米づくりの課題を整理する。</p> <p>努力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家の手間・品種改良・輸送・共同</li> <li>・生産性の向上、味、安全</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費が減っている。生産が減っている。</li> <li>・高齢化、農業をやめる人、休耕作地が増えている。</li> </ul> <p>○米づくりの課題を解決するために行われている3つの取り組みの中から自分が大切だと思うものを選び、グループごとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社化6次産業 給料の安定。若手も働きやすい。 地方の雇用、人口増加</li> <li>・海外輸出 消費の増加、生産の増加、市場の拡大</li> <li>・加工品 米の活用 コメ余り、コメ離れの食い止め</li> </ul> <p>○それぞれの取り組みが大切である理由を発表する。</p> <p>○農家の人のメッセージを見て、消費者にできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費を増やす・むだにしない・感謝 持続していく</li> </ul>	<p>★関連図、PI シート</p> <p>○関連図を活用して米づくりの課題を自分事として再認識できるようにする。</p> <p>○米づくりの発展に向けた取り組みを3つに絞ることで根拠のある意見文を書けるようにする。</p> <p>○3つの取り組みの発表を聞くことで、自分の意見文に生かせるようにする。</p> <p>★今井さんのメッセージ</p>
<p>終 末</p>	<p>○「日本の米づくりを守り、発展させるために何が大切なのか」考えて意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在米の海外輸出が増えていることはとても良いことだと思う。そして、海外の輸出を増やすことは生産を増やすのにとっても大切であることが分かった。しかし、海外輸出だけに頼るのではなく、米や米の加工食品をすすんで選んで食べて国内の消費を増やしていきたい。</li> <li>・生産者は6次産業、海外輸出など多くの努力や新しい取り組みをしている。消費者であるわたしは生産者の努力や工夫を無駄にしないように少しでも米の消費量をあげられるように米を食べていきたいと思いました。日本の主食は米であることを忘れずに感謝して食べたいです。</li> </ul>	<p>◇農業の課題を把握し、消費者や生産者の立場から、これからの農業などの発展について、多角的に捉え、自分の考えを文章に表している。</p> <p>【発言・ノート】</p> <p>思・判・表</p> <p>◇国民生活を支えている我が国の米づくりの発展を考えようとしている。</p> <p>【ノート・態度】</p> <p>学②</p>

◎学習事項を生かして自分事として問題を捉えた意見文を書く。

・消費が減ってしまうと生産が減って日本の米づくりが終わってしまうかもしれない。(知識)

朝はパンを食べることが多いが、ご飯を食べる回数を増やすことで消費を増やし、少しでも日本の農業に貢献していきたいと思った。(自分事)

・カントリーエレベーターを使って協力して生産して販売することで価格を低くする工夫をしている。多くの手間暇をかけているのに安く販売している人々の努力を考えると、私たちはご飯を残さず食べることで感謝を表し、少しでも消費を増やしていけるように心がけたい。

・現在米の海外輸出が増えていることはとても良いことだと思う。そして、海外の輸出を増やすことは生産を増やすのにとっても大切であることが分かった。しかし、海外輸出だけに頼るのではなく、米や米の加工食品をすすんで選んで食べて国内の消費を増やしていきたい。

・生産者は6次産業、海外輸出など多くの努力や新しい取り組みをしている。消費者であるわたしは生産者の努力や工夫を無駄にしないように少しでも米の消費量をあげられるように米を食べていきたいと思いました。日本の主食は米であることを忘れずに感謝して食べたいです。

・消費者が生産者や農業を支える人に関心をもつことがこれからの農業を発展させることにつながると思いました。米は当たり前で食べられるものだと思っていましたが、消費が減り、生産も減っていること、多くの人の努力によってお米が食べられることを知りました。生産者は消費者にお米の良さをアピールしていくことが大切です。それは多くの問題に向き合っていることを知らせることで、米づくりに関心を持つ人が増えると思うからです。多くの消費者が関心をもち、生産者と消費者が協力して日本のお米を守っていくことが大切だと思いました。

・昔は一つの農家や近所の数件が協力して行っていた米づくりも、今はカントリーエレベーター、6次産業などを行い、多くの人が協力して米づくりを行っていることが分かった。現在は生産者同士が協力しているが、今後は生産者と消費者が協力していくことが、大切だと思った。(生産者が様々な努力をして作っている米を多少高くても購入し、他の物を控えるなどしていきたい。)

・農業の未来に希望が持てた。後継者不足にある農業だが、つかっていない土地を集めて会社化することで、米を作り、働き口を作り、地方の人口の増加にもつながると思った。人々が努力していることを消費者に知ってもらうことで多くの消費者がその会社の米を買い、多くの地域に同じようなシステムができるようにしていきたい。

\_\_\_\_\_ : 前單元までの知識

\_\_\_\_\_ : 本単元の指導事項